



現代美術としての庭と園芸作品

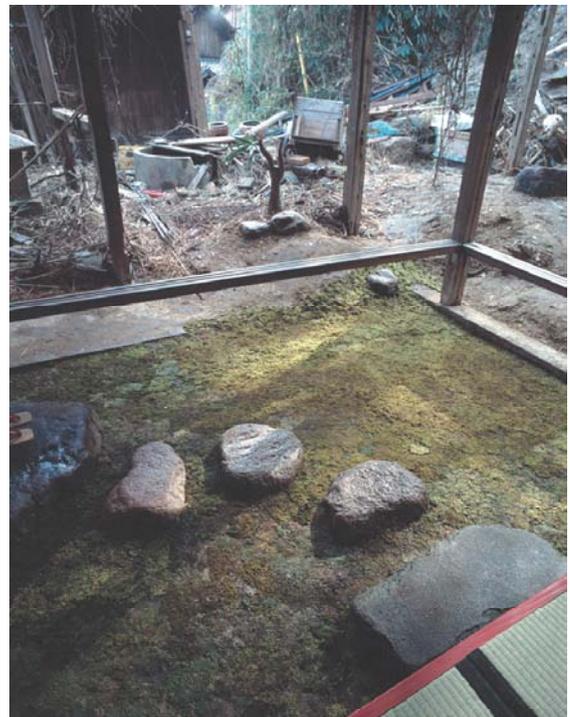
Landscape Design and Horticultural Art for Contemporary Art

要 約 前近代の日本では、芸術分野に関するカテゴリーが存在しなかったため、庭園や園芸は、ビジュアルアートや文学などに関する諸分野とクロスジャンルする形で存在していた。ここで紹介する試みは、近代化以降、カテゴライズされることにより芸術から切り離されてしまった庭や園芸を再び現代美術というフィールドで展開することを試みるものである。
<http://www.renovation.ecnet.jp>を参照。

研 究 者 竹田 直樹
TAKEDA Naoki



①上田博文+竹田直樹「蔵の庭」(2005)
兵庫県洲本市納(助成/アサヒビール芸術文化財団)



②上田博文+竹田直樹「苔の庭」(2005)
兵庫県淡路市塩田(助成/アサヒビール芸術文化財団)



③竹田直樹「ひまわりの部屋」,
テナント（2006年7月4日から23日,
主催／グラフィメディア・ジーエム
場所／グラフィメディア・ジーエム [大阪]）



④竹田直樹「深い森から」,
神戸造形宣言・展（2006年8月5日から11日,
主催／神戸芸術工科大学, 場所／北野工房のまち [神戸]）



⑤竹田直樹「ガジュマルのはえた日本の歴史」,
第二回ワーナキーズオークションハウス
（2006年9月1日から16日,
主催／WAANAKEY'S AUCTION HOUSE実行委員会
場所／前島アートセンター [那覇]）



⑥竹田直樹「細長いテーブルの庭」,
京都伝統工芸・いま（2006年10月2日から14日,
企画／小関皆平,
場所／朝日新聞大阪本社アサコムホール [大阪]）